

「芦屋でみることのできるおすすめ自然」資料、一覧表
 (旧あしや村とその周辺)

芦屋森の会 2001 (担当者: 杉田晃)

No	区分	写真の説明	撮影年月	記事
1	葉痕跡	カラスザンショウの葉痕	3月05日	前年の葉がついていた跡を葉痕と言います。よく見ると人や動物の顔を連想させるなど味のある形をしています。
2	木の実	ヤブコウジの果実	01月27日	日差しの弱い林内に生えている低木。冬枯れの林に赤い実が鮮やかです。
3		コウヤボウキの果実	01月27日	日当たりの良い山道でよく見かける低木。花が終わった後の綿毛もきれいです。
4	春の準備	ネジキの冬芽	02月26日	木々は様々な方法で寒さをしのぎながら、春の芽吹きを準備を進めています。芽をよく見ると、それぞれに個性的な形をしています。
5		コアジサイの冬芽	03月05日	
6		ドングリの発芽	01月13日	
7		ケヤマハンノキの花穂	12月06日	丸いのが今年の果実、細長いのが春を待っている花穂です。
8	早い春	アセビの花	01月24日	春はまだ遠いというのにアセビが花を咲かせました。
9		クロモジの蕾	01月24日	クロモジの蕾も大きくなりました。
10	冬の森	明るい森	01月17日	冬の晴れた日、落葉樹が葉を落とした森は日差しが暖かです。
11		落ち葉の森	12月09日	落ち葉が散り敷いた森。厚い絨毯の上を歩くような心地よい山歩きを楽しめます。
12		落ち葉の小道	12月09日	
13	雪の森	雪遊び	02月09日	町の中ではうっすらと積もっただけの雪も、森では靴が埋まるほど積もることがあります。森がふだんとは違った姿を見せてくれます。
14		雪の谷川	01月19日	
15	工作	環境フェスティバル	02月22日	ドングリや木の枝で工作しました。

1



2



3



4



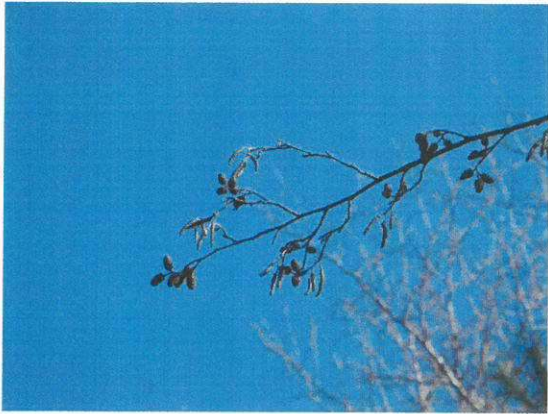
5



6



7



8



9



10



11



12



13



14
14



15



東お多福山とは

東お多福山は六甲山地の南東部に位置する頂（いただき）の一つで、神戸市と芦屋市の市域にまたがって位置しています。山頂部には六甲山地最大の面積を誇る草原が広がっています。

戦後まもなくまでは 80ha 以上の面積を誇るススキ草原で、キキョウ、スズサイコ、オミナエシ、ワレモコウ、オケラ、ツリガネニンジン、オカトラノオ、オトギリソウ、リンドウなどの草原生植物が多数みられる環境でした。

このススキ草原は、茅を得るための刈り取りによって保たれていました。

しかし、戦後の生活様式の変化によりススキ草原の価値が見いだされなくなり、草原と人との関わりは失われました。

その結果、開発や植林、森林群落への遷移によって草原面積は 82.9ha（1948 年）から 9.2ha（2007 年）にまで縮小してしまいました。

また優占種もススキからネザサに置き換わり、草原生植物の種数も個体数も激減してしまいました。

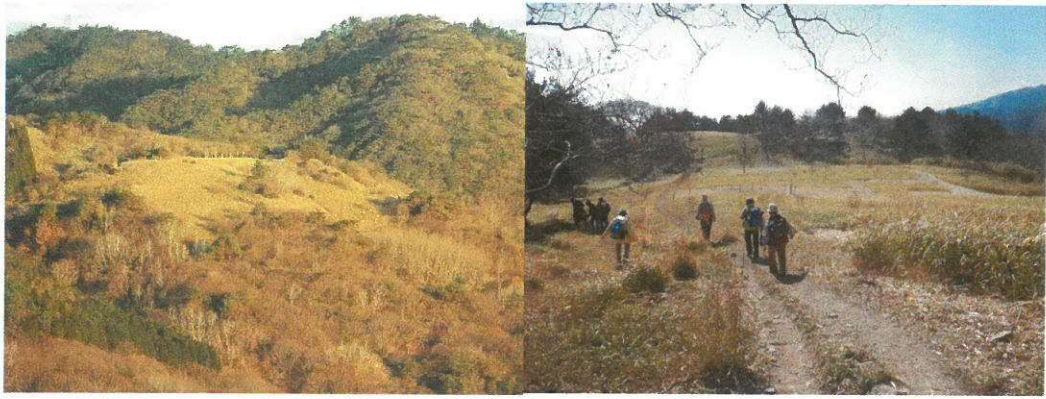
このように危機的な状態にあった東お多福山草原でしたが、残された草原生植物を守り、植物豊かなススキ草原を再生することを目指して、2007 年秋より草原の一部区域でネザサの試験的な刈り取りを開始し、2010 年から徐々に管理面積を拡げています。その結果、環境省の「生物多様性保全上重要な里地里山」にも指定され、ササユリをはじめ、リンドウやオミナエシ、ツリガネニンジンなどの草原性植物が見られるようになってきました。また、背の高いネザサを刈り取ることで、阪神間から大阪湾をまたいで、和歌山方面から淡路島まで壮大な景色を眺めることができます。

芦屋からは、ハイランド行きあるいは有馬行の阪急バスを利用すれば、阪急芦屋川から 15 分ほどで東お多福山登山口に到着。ここから 1 時間足らずで壮大な景色に出会うことができます。

登山道をはじめ、山頂付近の草原では、四期折々の多様な自然に出会えます。







令和2年度(2020)の行事予定

生物多様性豊かな草原の復元管理計画 植生調査とネザサ刈りを行います

東お多福山草原保全・再生研究会

管理区域を1年かけて複数回に分けて刈り取る活動をしています。刈り取り活動では鎌や刈り込み鋏で草を刈ったり、刈り払い機で刈り倒した草を集積したりします。班を編成してリーダーの指示のもとで活動しますが、ご自身のペースで作業できます。調査班は草花に詳しい人を中心に編成しています。植生を勉強しようと思う人は調査補助員として、筆記だけの人は記録員として、カメラをもってカメラマンとして参加いただけます。いろいろな参加形態がありますので、気楽に参加をご相談ください。

○**保全活動** (草原の刈り取り) : 集合場所は阪急バス 東おたふく山登山口 バス停です。

令和2年4月18日(土)	早春の全面刈り			
予備日 4月25日(土)		大人数必要です	集合 9:00AM	申込 4月8日まで
令和2年5月20日(水)	春の植生調査及び外構の笹刈り		集合 9:00AM	申込 5月10日まで
令和2年7月14日(火)	夏の植生調査		集合 9:00AM	申込 7月4日まで
令和2年7月15日(水)	夏のコドラートの笹刈り	大人数必要です	集合 9:00AM	申込 7月4日まで
令和2年9月30日(水)	秋の植生調査及び外構の笹刈り		集合 9:00AM	申込 9月20日まで
令和2年11月28日(土)	晩秋の全面刈りその1		集合 9:00AM	申込 11月18日まで
予備日 12月5日(土)		大人数必要です 現役世代歓迎!		
令和2年12月12日(土)	晩秋の全面刈りその2		集合 9:00AM	申込 12月2日まで
予備日 12月19日(土)		大人数必要です 現役世代歓迎!		
令和3年2月27日(土)	冬の全面刈り		集合 9:00AM	申込 2月17日まで
予備日 3月6日(土)		大人数必要です 現役世代歓迎!		

○当日の天候判断は、前日の17:00迄に行います。各団体で参加者に通知してください。

○参加人数は各正会員(団体)、各協力団体でまとめ、事務局(FAX:079-559-2014、

E-mail:higashiotahukuyama@gmail.com)までお知らせください。

○個人参加の方は当会HPよりお申し込みください <http://otahuku2016.wixsite.com/higashiotafuku>

○傷害保険、交通費などは各自で対応をお願いいたします。

申込HPのQRコードはこちら→



○**観察部会による月例観察会** : 集合場所は阪急バス 東おたふく山登山口 バス停です。集合9:00AM

令和2年 4月19日(日)	令和2年 5月28日(木)
令和2年 6月20日(土)	令和2年 7月23日(木)
令和2年 8月15日(土)	令和2年 9月24日(木)
令和2年 10月17日(土)	令和2年 11月26日(木)
令和2年 12月20日(日)	令和3年 1月28日(木)
令和3年 2月20日(土)	令和3年 3月25日(木)

